

植物多様性センターの「他に取っついて育つツル植物」

夏に元気なのがツル植物です。日を求め少しでも高みへ、他の植物等を支えに茎を伸ばし、葉を茂らせます。取っつき方の違いは、

◎巻きひげ：細いひげをだして巻きつく。葉の一部が変化してできたと考えられている。カラスウリ、スズメウリ等。

◎吸盤：巻きひげの変形版で、先端が吸盤になり張りつく。ツタ。

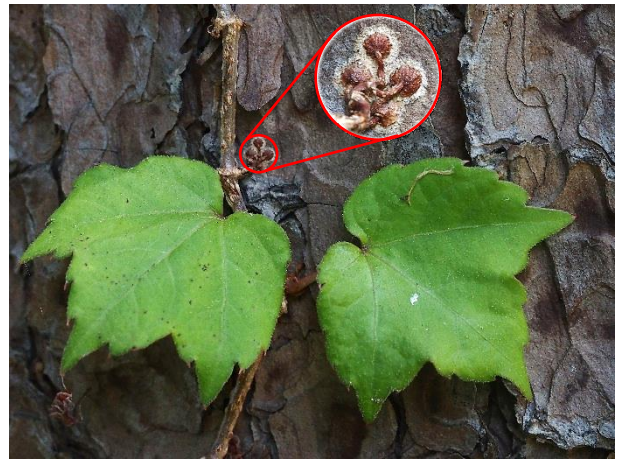
◎葉柄や茎：葉柄や茎自体が巻きつく。アサガオ、センニンソウ等。

◎その他：刺(トゲ)を使うノイバラ、根で這い上がるキヅタ等。

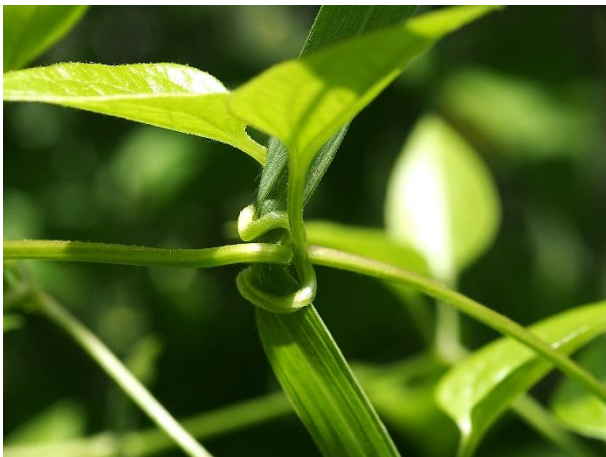
茎を強く自立させるより、葉の数やツルの長さに資源を使います。



巻きひげで固定する
カラスウリ



吸盤で樹に吸いつく
ツタ



葉柄で巻きつく
センニンソウ



根で這い上がる
キヅタ